

造形展特集
木工遊び



【木工遊びのねらい】

- ↪木という素材に触れ、形や長さなどからイメージを広げ、構成遊びを楽しむ。
- ↪道具の扱い方を知り、安全に使おうとする。



「年長組になったら木工やりたい！」と憧れを抱いていた子どもたち。ついに自分達の番が来た！本物の金づちや釘抜き、いろいろな長さや形の釘と木片。最初は恐る恐る慎重に釘打ちをしていた子どもたちですが、回数を重ねる毎に力の加減や釘を抑える手の持ち方などのコツを掴み、トントントンと調子のいい音が聞こえてくるようになりました。気分はすっかり大工さん↪



金づちと釘は、使い方次第では危険を伴う活動です。しかし本物の道具に触れることで扱い方を学び、木の硬さや釘の太さ、どんな釘が合うか…などの気付きと「やってみたらできた！」という自信に繋がりました。また、一人では難しいところを友達から助けてもらったり、アイデアやヒントをもらったりしながら取り組んできました。



つくり進めていく中で、「今日は車つくろうかな〜♪」から「飛行機もつくろう！」「空港もあつたらいい！」とイメージがどんどん膨らんでいきました。



さらにその作品に、木工用ボンドを使って、ドングリやクルミ等の自然物、布地、毛糸、綿、ビーズなどで装飾を施し、日に日にバージョンアップ👉指先を器用に使って、細かい爪楊枝や綿棒で小さなビーズをきれい並べた作品も…♡



春から取り組んできた子どもたちの【匠の技】を是非ご覧くださいね😊😊😊

